

「尾張旭市立旭丘小学校出前授業」

水土里ネット愛知用水

平成30年11月12日（月）、尾張旭市立旭丘小学校の4年生児童3クラスを対象に出前授業を開催しました。当日は多面的機能支払交付金の活動組織である「濁池地域環境保全の会」が主催となり、水土里ネット愛知用水の職員が講師として出前授業を行いました。

「愛知用水ができるまで」の話の内容については、当時、水不足に悩まされていた知多半島の人達の生活、久野さんと濱島さんの努力と計画、そして王滝村や木曾町の人々の協力があって、現在の愛知用水が完成したことをパワーポイントによる紙芝居形式で伝えました。

授業の後半では、水土里ネット愛知用水の副読本「愛知用水ブック」と、パワーポイントの両方を用いて、「水土里ネットとは何か」、「愛知用水の仕事や施設の紹介」、「水源地域の森の大切さ」を伝えました。

また、濁池の説明の中で、尾張旭市役所産業課からため池の防災について、お話していただきました。

授業の最後に行ったクイズでは、熱心に取り組む姿が見られ、たくさんの子が全問正解し、楽しく学習することが出来ました。

後日実施したアンケートでは、「昔の知多半島では、水がとても貴重な資源だったことが分かった。」、「お米や野菜を作るのに、水がどれだけ大切かを知った。」、「愛知用水の仕事がよくわかった。」といった感想をいただき、授業を通して当時の人の苦労や愛知用水がもたらす水の大切さについて、理解を深めることが出来たと思います。



水野会長よりご挨拶



愛知用水が出来るまでのお話



愛知用水の概要についてのお話



クイズに挑戦する児童たち